

卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）の学習成果と学位論文等審査基準の対応マップ

		卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）の学習成果				
		1	2	3	4	5
学位論文審査基準	1		○	◎		◎
	2	◎	◎		◎	◎
	3	◎	◎		○	
	4	◎	◎	◎		
	5		○	◎		○
	6					

自然科学研究科化学専攻博士前期課程の学位論文を評価するためのルーブリック

	A 優	B 良	C 可	D 不可
研究課題の明確性及び先行研究を踏まえて的的確性	先行研究を十分に調査し、それに基づいて研究目的が明示されており、研究課題が非常に明確に設定されている。	先行研究がある程度調査され、それに基づいて研究目的が示されており、研究課題が明確に設定されている。	主要な先行研究が網羅されていないため研究目的に対する妥当性が低い。研究課題はある程度明確に設定されている。	先行研究の調査が不足しており、研究目的に妥当性が与えられていない。研究課題は不明確である。
課題を追求する上で方法論の適切性	先行研究を十分に理解し、研究課題との関連および相違を明確にした上で、課題を解決するために最適な実験手法などを用いて研究が進められている。	先行研究を理解し、研究課題との関連および相違を明確にした上で、課題を解決するために適した実験手法などを用いて研究が進められている。	先行研究をある程度理解した上で、課題を解決することが可能な実験手法などを用いて研究が進められている。	先行研究の理解が不十分である。また研究課題を解決するためには適していない実験などが設定されており、研究が十分に進められていない。
研究方法及び調査方法の妥当性	研究課題に求められる研究方法が非常に適切であり、実験、計算、解析等が精緻に行われている。	研究課題に求められる研究方法が適切であり、実験、計算、解析等が適切に行われている。	研究課題に求められる研究方法が適切ではあるが、実験、計算、解析等に若干の問題がある。	研究課題に求められる研究方法が不適切であり、実験、計算、解析等に重大な問題がある。
結論の妥当性	修士論文の構成が極めて論理的であり、関連研究の成果を適切に引用しつつ、研究結果に基づいた非常に明確な結論が提示されている。	修士論文の構成が論理的であり、関連研究の成果を引用しつつ、研究結果に基づいた明確な結論が提示されている。	修士論文の構成がある程度論理的であり、研究結果に基づいた結論が提示されている。	修士論文の構成が論理的ではなく、研究結果に基づいた結論が提示されていない。
研究の独創性と研究分野への貢献	研究内容に優れた独創性と学術的な意義が認められ、非常に優れた研究成果を挙げている。	研究内容に独創性と学術的な意義が認められ、優れた研究成果を挙げている。	研究内容に独創性と学術的な意義がある程度認められ、研究成果を挙げている。	研究内容に独創性と学術的な意義が認められず、研究成果がない。
その他				